

主 な 内 容

会長就任挨拶	杉山 征三	1	1
新年度のあいさつ	杉山 征三	1	1
近況報告	平沢 勝栄	2	2
区の基本構想と口腔の健康	青木 克徳	2	2
口腔ケアの重要性	平沢 勝栄	2	2
葛歯連盟広報の発行	筒井 ひとみ	2	3
口からはじまる健康	向本 幸子	3	3
小さい頃から口腔ケア	秋本 聡	3	4
歯の健康と「かかりつけ歯科」の重要性	伊藤 しのぶ	4	4
「子どもの虫歯(う蝕)をゼロにする」	高木 信明	4	4

# 葛 歯 連 盟 広 報

発 行 所

葛 飾 区 歯 科 医 師 連 盟

東京都葛飾区青戸7-1-20

電話 03(3602) 0648・(3603) 2691

編集発行人 杉山征三

印刷所 一世印刷株式会社

## 会長就任挨拶

葛飾区歯科医師連盟 会長 杉山 征三



先生方には平素より多大なご支援とご協力を賜り、葛飾区歯科医師連盟を代表して厚く御礼申し上げます。私は、令和3年6月26日に開催されました「第80回定期総会」におきまして、会長に就任をさ



せていただきました。今までにない重責を感じますが、専務理事時代にお世話になりました高橋文夫元会長、加藤秀之元会長のご功労に感謝し、しっかりと後を引き継いでまいります。会務マニユアルの発行で定着した「三会の連携」「会務の継承」「活動報告の充実」という路線を充実させ、今後の新たな課題を整理し、さらに前進していきたいと考えております。

最後になりますが、この紙面にご寄稿いただいた区長様、各議会議員様には心より感謝申し上げます。区民のため、葛飾区歯科医師会会員のため、三会の事業推進のため、強力に活動してまいります。そして、この執行部を会員の先生方に育てて頂きたいと願います。

## 令和3年度 葛飾区歯科医師連盟役員名簿

令和3年7月1日～令和5年6月30日

会 長	杉山 征三
副 会 長	貝塚 浩二
広 報	長谷川晶秀
管 理	熊倉 伸一
専 務 理 事	
常 務 理 事	
内 務	総務・学術 熱田 互
外 務	選対・渉外 武藤 功英
財 務	会計・庶務 加藤 想玄
広 報	部会・委員会 小泉 王介
理 事	森田 賀大
監 事	志田祐次郎
顧 問	権 暁成
評 議 員	三浦 謙一
予 備 評 議 員	児玉 拓也
都 連 地 区 選 対 渉 外 部 員	高橋 文夫
選 挙 管 理 委 員	加藤 秀之
	加藤 秀之
	貝塚 浩二
	長谷川晶秀
	片岡 博樹
	根本 貴司
	梅本 芳夫
	秋葉 和実
	高橋 裕幸
	丸山 裕司
	関 裕信

## 新年度のいざこざ

東京都歯科医師連盟 会長 大越 壽和



令和2年度、東京都歯科医師連盟の活動において、杉山新会長をはじめ葛飾区歯科医師連盟の先生方におかれましては平素よりご理解・ご協力とご支援を賜り、無事に会務執行ができましたことに御礼申し上げます。

また、毎年葛飾区歯科医師会新年会や連盟の役員連絡会にお招きいただき、楽しみにしていました。昨今は皆様と近くお会いすることもままならず、とても残念に思っております。

前会長加藤先生には都歯連盟に特段のご配慮をいただきありがとうございます。お疲れ様でした。

そして新たに会長にご就任された杉山先生、心よりお慶び申し上げます。持ち前の知識と経験を活かし会員そして区民のために活躍していただけることを期待しています。

行う等の変化がありました。会員の先生方のご理解により、大過なく会務を執行することができました。しかしながら、都議会や自民党都連に對しての予算要望、尚歯会はすべて通常通り執行いたしました。そして、令和3年7月4日に行われた都議会議員選挙では、本連盟推薦候補は71名(自民56名、公明7名、都ファ8名)、そして、当選者47名(自民32名、公明7名、都ファ8名)、落選者24名、当選率66.2%の結果となりました。葛飾区でも、平田候補者が当選しましたが、自民の2名の当選は叶いませんでした。この結果を見ても秋に行われる衆議院選挙にも危惧を覚えます。

さて、令和3年度新執行部の重点活動ですが、都歯と都歯連盟の協力体制を前執行部の調査ベースをもとに、より強化するように要望してまいります。それにより、最大の課題である未入会員・未納会員対策や事務局の合理化を歯科医師会の理解のもとで進めてまいります。近年、会員の新型コロナウイルス感染症対策でも連盟の存在感を発揮しました。今後も時局問題に對してスピード感をもって対応してまいります。財務においても更なる透明化をもって運営してまいります。そのほかにも慣例の事業を行ってまいります。

なお、令和3年6月22日に開催された第133回東京都歯科医師連盟評議員会にて3期目の会長に承認され、新執行部は7月1日よりスタートいたしました。引き続きご協力を賜りたく存じます。

昨年来、コロナ禍により講演会や新年のご挨拶等の中止を余儀なくされ、理事会をはじめ、各種会議もリモートで

補者である山田 宏氏(日本歯科医師連盟顧問)の今後の活動の流れにおいて、従来は選挙対策推進本部を設置してまいりましたが、「選挙対策」は平時の組織名としてはふさわしくなく、また、後援会は後援会活動の名を借りた選挙の事前運動と見なされる恐れがあるため、現在は政策推進部会に改め年内は政策の普及・啓発を徹底する期間としています。この時期には山田宏氏の個人デンタルミーティング(会員訪問)やマイクのいらぬミニ集会をぜひ推進していただきたくお願いいたします。

そして令和4年1月より公示日6月までは選挙対策推進本部会の設置等を行う直前期、そして選挙期間に入ります。東京で山田 宏氏をお招きするデンタルミーティング期間は12月1日～12月31日まで。

再度申し上げます。是非デンタルミーティングを企画して都歯連盟に報告してください。明るい歯科界を目指して山田 宏氏を国会に送りましょう。

結びに、多くの会員の先生の声を聞き、東京都歯科医師連盟の発展を推し進め、ひいては都民の健康寿命の延伸を目指し、執行部一丸となり、邁進してまいります。葛飾区歯科医師連盟の益々のご隆盛、そして、会員の先生方のご健勝を祈念し、引き続きのご支援をお願いいたしましてご挨拶とさせていただきます。

## 地の塩

研修会、あるいは講演会での会場に向く際、真っ先に調べることは、その近くのラーメン屋の存在と口コミであった。歯科大生の頃から伴侶を持つようになった現在も変わらない習慣であったが、昨年初頭からは一変してしまった。これほど街に出ない生活は、私のつたない人生を振り返っても無かったと思うが、新しいラーメンの味を堪能できないという残念な気持ち、近くのスーパーで売っている食べ慣れたラーメンや即席麺を食すことで収めている。

そのような自分の現状を考えると、辛いにも人間には状況への適応能力が備わっているのだと改めて感じる。たまに外に出ると、街の風景が変化していることがわかる。通っていたお店が閉まり、別のお店になっていく。寂しいと思う反面、他人が求めることを考え、行動に移す人が多いのだと、ひしひしと感じる。

ここ数年問題となっていた歯科医院におけるハンドピース使い回し問題から、昨年初頭に飛沫感染リスクの最も高い場所と騒がれた一連の報道に、私たち歯科医師は苦しめられてきた。蓋を開けてみれば、感染予防対策として私たちが行ってきたことは、間違っていないかと言えよう。明らかな結果になっている。災いを転じて福となす力を、今、我々は試されている。その適応力こそが人工物にはない、生物にしか成し得ない力であり、誇りをもって続けていかなければいけないことなのだ、実感された方も多いのではないだろうか。

今後更なる研究結果により、私達はより一層の変化を求められるであろう。それは仕事に留まらず、生活全般にも及ぶと思われる。変化することを恐れる時代は終わったのかもしれない。

# 「近況報告」

衆議院議員 復興大臣 平沢 勝栄



葛飾区歯科医師連盟の皆様には平素より何かとお世話になり、有難うございます。ところで私は、昨年9月に復興大臣として入閣しました。最初に出馬した時から今日まで歯科医師連盟の先生方には力強いご支援をお寄せ下さいました。

皆さん方が私を政治家として育てて下さったわけで、心から御礼を申し上げたいと思

います。

ところで、東日本震災は今年の3月に、10年という大きな節目を迎えました。大臣就任時に、菅首相は私に

被災地の復興は内閣の最重要課題の一つ、②福島復興なくして東北の復興なし、東北の復興なくして日本の再生なし、の二点を言われました。

この二点を原点として私は全力で職責を全うしていきたくと考えています。

そのためにはまず、地域の人の生の声を直接聞くことが大事との考えから、就任以来、時間が許せば福島などを訪ねています。そして、知事

を始め、各界各層の人から復興の現状と今後の課題、そして国への要望などについて率直な意見を伺っています。

皆さん方の意見は、「地震や津波からの復興は着実に前進し、これからは総仕上げの段階に入っていく、しかし心のケアなど被災者のソフト面での問題は残されたまま」ということです。

原発事故の問題については、「この教訓や記憶を風化させないでほしい、いずれば避難指示を解除して全ての帰還困難区域に再び住めるようにしてほしい」というものでした。この他、根拠のない風評が国内外で流れ、農産物や漁業、そして観光などに深刻なダメージを与えていることから、正確で効果的な情報発信に努めてほしいといった要望も何度か受けました。

私は少年時代を福島で過ごしましたが、葛飾の子供たちも戦時中に学童疎開で福島に大変にお世話になりました。その縁もあり二本松などは葛飾区の産業展に毎回出店して友好を深めています。また、亀有の商店街のもちつき大会には毎回、堀町から多くの職員が米持参で駆けつけてくれます。

今回、私は福島、そして東北にご恩返しをする絶好の機会を与えられました。この機会に福島などの東北と葛飾との友好親善が更に深まるよう全力で努めていきたいと思います。

最後になりますが、最近ではコロナ禍が日本や世界で猛威をふるっています。そうした中で、日本のPCR検査やワクチン接種の問題がいろいろ指摘されて

います。

葛飾区は、医師会や歯科医師会との連携が非常に良くとれていることもあり、感染症対策でよく頑張っている自治体の一つといえます。これも皆さん方のご協力のお陰といえます。

いずれにしろ、「民心なくば立たず」です。国民の皆さんの信頼、そして協力なくして政治は何もできません。これから皆さんに信頼される政治を目指してしっかりと取り組んでいきたいと思っております。ご指導ご鞭撻を宜しくお願いしたいと思います。

最後に葛飾区歯科医師連盟の先生方のご健勝、ご多幸、ご発展を心からご祈念申し上げます。

# 口腔ケアの重要性

東京都議会 議員 平田みつよし



葛飾区歯科医師連盟の皆様におかれましては、歯科保険医療への多大なご尽力はもとより、区民生活や区政の各般にわたってご支援・ご協力を賜っておりますこと心から御礼を申し上げます。

歯の病気は幼年・若年期は虫歯、壮年・中年以降は歯周病、高齢期では歯の損失と、生涯にわたって健康に関わる事であり、各々の年齢に応じた口腔ケアを考える必要があると拝察しております。

私に口腔ケアの重要性を教えてくださいましたのは、山田 宏 参議院議員でした。山田先生は常日頃「口の中の健康は全身の健康」と説かれ、口の健康が損なわれると歯周疾患となり、歯周病菌などが歯茎の毛細血管から血液を通じて全身に運ばれ、動脈硬化や心筋梗塞、糖尿病などの全身疾患を引き起こしてしまうと強調されています。

2017年に参議院決算委員会で行われた質疑と、当時の総理や厚生労働大臣の答弁が印象的でした。

(以下一部抜粋)

塩崎恭久厚生労働大臣…「ご指摘の通り、残存している本数が多いほど医療費は低い、あるいは歯周病がない人は歯周病がある人に比べると年間医療費は低い、口腔の健康は全身の健康につながる」と、認識をしております。」

山田議員…「一人当たりの医療費65歳から75歳の方は年間平均すると55万円。75歳以上になると90万円を超えるんです。なるべくからなくていい病気にならないようにする、かかっても重くならないようにする、これは口の中なんです。口は体の入り口です。口は栄養も入ってくるけど、毒も細菌もみんな入ってくるんです。口の中が炎症を起こすと、血管で全部身体へつながっているから、糖尿病・脳梗塞・心筋梗塞肺炎、さらには癌のリスクまで上がる。口の中は全身と関係しているんです。これが分かっているんです。これが分かっているんです。口の中を健康にするだけで、他の病気になる。私はこういつた事をやって行く事がこれから国の健康政策の柱になるべきだと思っております。」

「歯の健診も今は高校生まででなんです、それ以上は任意なんです。『2025年の壁』を乗り越えていく為には、口の中の健康を重視し、全年齢にわたって健診をやっていく、こういった事に公約通りに一歩踏出すべきじゃないかと思うんです。総理のご所見を表します。」

# 区の基本構想と口腔の健康

## 口腔の健康

葛飾区長 青木 克徳



葛飾区歯科医師連盟の皆様方におかれましては、平素より区の歯科保健医療分野における地域医療活動にご尽力をいただきありがとうございます。また、昨年来、区民生活のあらゆる場面でコロナ禍の影響が続く中、感染症対策を講じた上で歯科診療を継続して取り組んで頂き心から敬意

と感謝を申し上げます。人生100年時代を迎える私たちにとっては、老後をいかに健康で過ごし、生活の質(QOL)を保つかが重要となっております。しかしながら、世界に先駆け超高齢社会に突入した日本では、健康寿命と平均寿命との間に約10年の開きがあることから、高齢者数がピークを迎える2040年に向けて、これまで以上に健康寿命を延伸するための取組を強化することが大切です。

そこで重要となるのが「口

腔の健康」です。口腔の健康と全身の健康は密接な関係にあり、歯周病と糖尿病の相互関係をはじめ、口腔の健康状態をよくすることで病気のリスクを下げることも多くのメリットが明らかになってきています。

本区におきましては、かねてより歯科医師の皆様方と連携・協働し、区民の方々がいつでも健康で生き生きと暮らせるよう、歯科保健対策を進めております。各種歯科健診ではライフステージを踏まえ、幼児期はう蝕予防、成人期は歯周病等の歯科疾患予防、高齢期は口腔機能の維持・向上に重点を置いた取組を進めています。加えて、健診を契機に「かかりつけ歯科医」を持ち、日頃から口腔の健康に気を付ける習慣を身に付けることを広く周知し普及啓

発に努めているところです。

長寿歯科健診におきましては、歯を残す努力に加えて、加齢による口腔機能の低下への対応が不可欠であることから、他自治体に先駆けて平成25年から歯周疾患診査に加えて口腔機能診査を実施しております。令和2年度には当該検診の対象を81歳までに拡大するとともに、8020運動を促進するため、80歳で自身の歯を20本以上有する方に達成証の発行を始めました。なお、当該年度の受診者のうち約60%の方が8020を達成しております。

また、コロナ禍で高齢者等の閉じこもりが課題となっていることから、かつしか笑顔いきいきお口体操」を作成して動画を配信するなど、新しい生活様式を踏まえた歯科保健情報の発信も開始して

います。

葛飾区は、医師会や歯科医師会との連携が非常に良くとれていることもあり、感染症対策でよく頑張っている自治体の一つといえます。これも皆さん方のご協力のお陰といえます。

いずれにしろ、「民心なくば立たず」です。国民の皆さんの信頼、そして協力なくして政治は何もできません。これから皆さんに信頼される政治を目指してしっかりと取り組んでいきたいと思っております。ご指導ご鞭撻を宜しくお願いしたいと思います。

最後に葛飾区歯科医師連盟の先生方のご健勝、ご多幸、ご発展を心からご祈念申し上げます。

約30年ぶりに改定しました葛飾区基本構想におきましても、「区民の健康への意識を高めながら、区民一人一人が、それぞれの年代や状況に合わせて主体的に心と体の健康づくりやスポーツに親しむ環境を充実し、生涯にわたって健康に安心して暮らせるまちをつくりたい」と謳っています。当該構想の実現のためには、引き続き皆様と連携・協働をして歯科保健対策を効果的に進めていくことが不可欠となりますので、今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

結びに、まだまだ暑さが厳しい中ですが、葛飾区歯科医師連盟の更なるご発展と、諸先生方の益々のご活躍を心からお祈り申し上げます。

この度、杉山征三先生が葛飾区歯科医師連盟会長に就任されましたことを、心からお

# 葛歯連盟広報の発刊に寄せて

葛飾区議会 自由民主党議員団 幹事長 筒井たかひさ



祝い申し上げます。杉山新会長のもと、連盟の皆様が結束を固め、益々ご発展されますことをご期待申し上げます。

また、前会長の加藤秀之先生には、令和元年の会長ご就任以来、連盟の活動に多くのご功績を残されました。加藤先生のご尽力に、心から敬意

葛飾区歯科医師連盟の皆様方には、長年にわたり区民の歯と口腔の健康の増進に向けて、成人歯科健診や長寿歯科健診、妊婦歯科健診、すくすく歯育て歯科健診などの各種歯科健診をはじめ、休日応急歯科診療や、ひまわり・たんぼの両歯科診療所の運営、寝たきり高齢者歯科診療、歯科医療連携推進事業など、本区の歯科保健行政に多大なご支援をいただいております。コロナ禍においても、診療中の感染予防はもとより、マスク着用による口内環境の悪化防止に向けた啓発や区の感染拡大

防止策への支援などに取り組んでいただいております。

皆様方の多大なるご尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、葛飾区歯科医師連盟の皆様のお力添えを賜りました、平成二十九年秋の葛飾区議会議員選挙並びに葛飾区長選挙から、間もなく四年が満了しようとしています。

この間、私も、自由民主党葛飾区議団は、青木区長とともに、区内医療環境の充実をはじめ、災害対策、健康づくり、子育て支援、子どもの学力向上、地域と産業の活性化など、葛飾区の更なる発展

を伺いたいと思います。」

安倍総理…「只今、山田 宏議員の話を伺っていて、私も定期的に歯の健診をしなければならぬ思いを強くした所でございます。政府としてはこれまでも8020運動を通じて、歯科保健の推進をしております。引き続き、歯の健康づくりを通じて、健康で長生きできる社会の実現に努めてまいります。」

歯や口腔の健康を保つことは、食物を咀嚼するということだけにとどまらず、食事や会話を楽しくむという人間的基礎と成すものであります。今後とも連盟の先生方のご指導ご尽力を仰ぎながら、誰もがより長く元気で活躍できる社会の実現に取り組んで参る所存です。

結びに葛飾区歯科医師連盟の益々のご発展と、先生方のご健勝ご活躍をお祈り申し上げます。小文とさせていただきます。

と、区民の皆様の生活を支えるために、様々な施策に取り組んでまいりました。

こうした取り組みが評価され、令和元年には日経新聞の「共働き子育てしやすい街調査」で、葛飾区は全国で第一位となり、昨年は第二位、今年一月には、同新聞の「SDGs（持続可能な開発目標）先進度調査」で全国総合三位に格付けされました。

これは、議員団所属の各議員が区民の声を直接聴き、真に必要なものは何かを考え、区政に反映させてきた成果の一端が表れたものと思えます。

また、新型コロナウイルス感染症の収束に向けて、ワクチン接種をはじめとする感染拡大防止策や、ひつ迫する医療体制の充実、区内企業・区民への支援など、様々な緊急

対応を次々と行っているところであります。今後も、区民の皆様を守ることを第一とし、「新しい生活様式」を踏まえた区民サービスの提供や、ウイズコロナ・アフター

コロナの時代における持続可能な地域社会づくりなどの対策に取り組んでまいります。そして何よりも、区内の歯科医師の皆様が安心して区民の歯と口腔の健康増進と地域

医療の充実に専念していただけるよう、私も自由民主党議員団は、積極的に支援をさせていただきますので、引き続き、よろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様方の今後益々のご活躍と、葛飾区歯科医師連盟の益々のご発展を、心からご祈念申し上げます。

## 小さい頃から

### 口腔ケア

葛飾区議会 議員 秋家 聡明



葛飾連盟広報の発行おめでとうございます。葛飾区歯科医師連盟の皆様方には、日ごろから歯科診療を通じて区民の皆様を健康維持増進をはかられていると同時に、専門的立場から口腔に関わる健康の知識普及に努めて頂くことで、広く区民の関心を高めて頂いていることに心から敬意を表します。

日本は世界でもトップの長寿高齢社会であります。最新の時まで明るく元気に過ごすことが大変大切な事であり、そのために重要な事であることは、誰にも異論のないところでもあります。その為に歯科医師連盟の先生方には、八十歳になっても自分の歯を二十本以上残す目標を設定した「8020運動」を推進して頂いており、広く定着してきております。

また同時に、その考え方を幼少期から定着させ、子ども達が長い生涯を通じて口腔の健康維持をしてもらうことは大変重要なことでもあります。

私は、保育園の経営にも携わっておりますが、毎年6月になると虫歯予防デーを契機として歯ブラシをご家庭から持参して頂き、食後の歯磨き

指導が始まります。歯科健診の日を設け、園医である歯科医師の先生に保育園に来ていただき、虫歯の有無を検査しても頂いています。子どもたちが怖がらず診断を受けられるよう、皆様方が様々なご努力もされていると感じております。

さらに皆様方には、1歳6か月児と3歳児に対して行われる「乳幼児健康診査」のhitotとして子どもの歯科健診にもご尽力いただいております。今後さらに各ご家庭で口腔ケアに関心をもち、口だし、何かあった時の歯科医ではなく、何か起きないためにつけ歯科医への定着が進むことを望んでおります。

私も微力ではありますが、区議会の活動を通じて皆様方のご努力が区民の健康増進に繋がりを、いつまでもお元気に過ごして頂けるよう、皆様方の活動を積極的に支援して参ります。

私は、生まれも育ちも葛飾柴又です。未来ある子どもたちの為にも、今より少しでも良い「ふるさと葛飾」をつくっていきたくと思っております。その為に次の3点に力を入れて活動していきます。

一つ目は、すべての人が健康やかに暮らせる環境を整備することです。現在新型コロナウイルスが猛威を振るっていますが、まずはこのウイルスを抑え込むためにワクチン接

種を速やかに進めることが必要です。歯科医師会の先生方もワクチン接種のご協力をいただくこともあるのかもしれない。コロナ以外にも母子の歯科健診や、いつまでも自分の歯で摂食できるよう8020運動も歯科医師会の先生方のこれまでの取り組みを支援して参ります。その中でも、とりわけ乳幼児の頃から習慣づけを歯科医師会の先生方の力をお借りして、定着させていきたいと考えています。何かあった時の歯科医ではなく、かかりつけ歯科医の

さらなる定着化を目指して参ります。

二つ目は、賑わいのある街を取り戻すことに力を入れます。ポストコロナを見据え、新型コロナウイルスのために出来なくなっている様々なイベントが実施可能になった際には、地域住民の皆さんが住んでいて良かったと思っていただけに、楽しいイベントをひとつでも多く取り戻していきたいと思っています。

最後に、東京都の最東端の葛飾区には、さらに利便性の高い交通網が必要です。高砂

駅の立体交差化事業も一日も早く実現できるよう区と一緒に進めて参ります。又、柴又街道の拡幅事業も、今後進むことになっていますが、柴又地区、特に帝釈天の門前部分の文化的景観を活かして、いける拡幅を進めて参ります。

葛飾区歯科医師連盟のさらなる発展と会員の先生方のますますのご活躍を心から祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

## 口からはじめる健康づくりのヒント

葛飾区議会 議長 秋本とよえ



普段からのご努力を強く実感しております。

さらに、学校歯科医としての健診や、本区独自の取り組みである、たんばば歯科診療所、ひまわり歯科診療所の運営についても、先生方のご努力のもと、コロナ禍の中でも継続していただいていることに、重ねて感謝申し上げます。

現在葛飾区では、今後10年間の新たな基本計画の策定を進めています。この計画における重点施策の一つに、健康寿命の延伸を掲げております。本区における65歳健康寿命は、男性女性ともに、東京都平均に達しておらず、健康寿命を延伸していくためには、歯と口の健康維持は欠かせないと思えます。高齢期においては、口腔機能の維持向上が必要であり、それぞれの身体状況に合わせたケアが必要と。そのため、葛飾区歯科医師会のご協力をいただき、長寿歯科健診の対象を80

歳までにし80歳で20本の歯を残す8020運動をさらに推進するとともに、誤嚥性肺炎を予防するための嚥下能力のチェックにも取り組んでいかれるとお聞きしております。また、しっかりと自分の歯を残すためには、若い頃から、かかりつけ歯科医をもち、定期的な歯科健診を受け、むし歯や歯周病の予防と早期発見を進めていくことが大変重要であると、私は考えております。

特に私が重要視しているのが、歯周病の予防です。歯周病は、自覚症状のないままに進行してしまふことが多いとお聞きします。そうであれば、定期的な歯科健診の習慣がないと、なかなか発見することができません。こうしたことから、若い世代、働

き、長寿歯科健診の対象を80歳までにし80歳で20本の歯を残す8020運動をさらに推進するとともに、誤嚥性肺炎を予防するための嚥下能力のチェックにも取り組んでいかれるとお聞きしております。また、しっかりと自分の歯を残すためには、若い頃から、かかりつけ歯科医をもち、定期的な歯科健診を受け、むし歯や歯周病の予防と早期発見を進めていくことが大変重要であると、私は考えております。

き、長寿歯科健診の対象を80歳までにし80歳で20本の歯を残す8020運動をさらに推進するとともに、誤嚥性肺炎を予防するための嚥下能力のチェックにも取り組んでいかれるとお聞きしております。また、しっかりと自分の歯を残すためには、若い頃から、かかりつけ歯科医をもち、定期的な歯科健診を受け、むし歯や歯周病の予防と早期発見を進めていくことが大変重要であると、私は考えております。



### 葛飾区歯科医師連盟の活動3目標 (令和3年度・4年度)

#### 1. エビデンスに基づいた口腔保健の政治活動

公益社団法人葛飾区歯科医師会の受託事業や葛飾区学校歯科医会の健診事業、糖尿病や骨粗鬆症、オーラルフレイルなど、今後展開される医科歯科連携と関連する知識を政治活動を通じて葛飾区の区議会議員にお伝えし、また、そのための資料を充実させます。

#### 2. ICT化への推進

昨今において常識となったWEB会議やリモート執務を活用していき、ICT化を推進していくことで、役員や委員の負担を軽減するとともに、スムーズに情報や知識を共有することで、組織力を向上させます。

#### 3. ホームページの構築

公益社団法人葛飾区歯科医師会、葛飾区学校歯科医会と合わせ、葛飾区歯科医師連盟でもホームページを立ち上げ、会員や議員に対して快適な情報提供ができるような準備をしていきます。

# 歯の健康と

## スポーツ

葛飾区議会 議員 峯岸 良至



葛飾区歯科医師連盟の皆様方には、長年にわたり区民の歯と口腔の健康の増進はもとより、地域医療の充実に多大なご尽力をいただいております。厚く御礼を申し上げます。

さて、私は、幼少期から野球をはじめ、様々なスポーツに親しんでまいりました。大学時代にはレスリングクラブ

に所属し、会長を務めました。また、現在、葛飾区議会の超党派の議員で構成する葛飾区議会地域スポーツ活性化議員連盟の会長を務め、区民がスポーツに親しみ、健康づくりに取り組める環境整備を行うとともに、スポーツと葛飾区の産業・観光・文化等の地域資源を結び付け、まちづくりや地域活性化につなげる取り組みを行っております。

かつてのスポーツ界と言え

ば、とにかく根性を身に付けてさせることが重要視されていたように感じます。格闘技に限らず、指導者からは歯を食いしばって頑張り」と傲を飛ばされ、試合に負ければ「歯を出してヘラヘラするな」と。

しかし、現代のスポーツでは、最先端の医学や化学技術が取り入れられるようになり、「歯の健康」とスポーツの関係も研究が進んでおります。奥歯をしっかりと正しく噛めることにより、咀嚼筋が働くこと、脳が刺激され、脳や脊髄にある全身の運動にかかわる神経が活性化されるため、全身の筋肉がより強く活動でき、アスリートが本来持っている運動能力を最大限に発揮することができま

す。また、かつてのプロスポーツにおいては、選手紹介の写真には全く笑顔がありませんでした。技を極めた達人は、減多に歯を見せることなく、近寄りたくない存在を醸し出していたように思います。しかし、最近では、日本人選手も、米国メジャーリーグの選手のように、白い歯を見せて写真に納まり、ファンサービスでも、常に笑顔絶やさず、それにより一流のアスリートも、より身近な存在に感じられ、スポーツに興味を持つ人も多くなってきました。

人々が心を開いて接するときには満面の笑顔が大切な要素となります。しかし、その大切な笑顔も、歯と口腔に悩みがあつては、なかなか人に見せることはできないのです。

このような中、葛飾区歯科医師連盟の皆様方には、区民の歯と口腔の健康の増進に向けて、各種歯科健診をはじめとする本区の歯科保健行政に

多大なご支援をいただいております。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けては、奥戸総合スポーツセンターで実施されている大規模集団接種にご協力をいただき、区民の健康と生命を守るため、日々ご活動をいただいております。

皆様のご尽力に、重ねて厚く御礼を申し上げます。私も、微力ではありますが、区内の歯科医の皆様が安心して歯科診療に取り組んでいただけるよう、積極的に支援をさせていただきます。

結びに、皆様方より一層のご活躍と、葛飾区歯科医師連盟の益々のご発展を、心からお祈り申し上げます。

# 「子どもの虫歯（う蝕）を

## ゼロにするために」

### 期待される小児の歯科健診

葛飾区議会 議員 高木 信明



葛飾区歯科医師連盟の皆様におかれましては、日ごろから歯科診療を通じて区民の皆様への健康維持に取り組んでいただいております。また、また新型コロナウイルス感染症拡大対策での大変なご苦労とご尽力に心より感謝

申し上げます。近年は口腔内の健康に関する世間の関心が高まり、葛飾区は高齢者への「お口の健康とセルフケア」として、毎日の歯みがきや定期的なかかりつけ歯科医受診、「かつしか笑顔いきいきお体操」の動画を公開してお口の機能維持などを推奨しています。また、歯周病が糖尿病などの生活習慣病をはじめ、脳梗塞や心筋梗塞の原因となるアテローム血栓症と関連していることも明らかになっており、成人歯科健康診査の実施及び歯周病についての周知や予防の呼びかけなどを積極的に取り組んでまいります。

さて、葛飾区で行われている子どもの歯科健診には「親子の歯育で楽しくクラブ」や「ハッピーベースデイ」を踏まえて「からだ全体」を考えた「自分守り」を改めて意識することができま

さて、今般のコロナ禍においても、口腔ケアなどによる歯や口の健康維持が大切となっております。例えばインフルエンザウイルスの場合、お口が不潔だと感染リスクが高まるとい研究結果がすでに報告されており、特に歯周病菌はウイルスに侵入を助け

日付	内容
3月8日(月)	会務報告
3月8日(月)	KDFから版第12号発行
3月19日(金)	第9回定例会事
3月27日(土)	令和3年度事業計画・予算書の掲示
3月31日(水)	会務マニュアル発行
4月2日(金)	都連 第132回評議員会
4月21日(水)	第1回定例会事
5月12日(水)	第1回監査会
5月14日(金)	第2回定例会事
5月26日(水)	都連 第1回支部長・代表者会
6月11日(金)	第3回定例会事
6月16日(水)	第2回監査会
6月22日(火)	第2回選挙管理委員会
6月25日(金)	都連 第133回評議員会
6月26日(土)	東京都議会選挙告示、候補者出陣式参加
6月26日(土)	第80回定期総会
7月2日(金)	第2回三役会
7月2日(金)	第1回常務理事会
7月14日(水)	連盟 会計業務引継説明会
7月16日(金)	第2回広報委員会
7月21日(水)	第4回定例会事
7月28日(水)	都連 城東ブロック代表者・専務会
8月6日(金)	葛歯連盟広報(第18号)発行

# 「かかりつけ歯科」の重要性

葛飾区議会 議員 伊藤よしのり



葛飾区歯科医師連盟の皆様方には、日ごろから歯科診療等を通じて区民の口腔の健康の維持増進にご尽力いただきありがとうございます。コロナ禍で先行きが見通せない状況ではありますが、歯科医師の先生方による徹底した感染防止策により従来通り安心・安全な歯科医療を提供していただいていること心より感謝いたします。

私たち日本人の平均寿命は、2017年に男性で81.1歳、女性で87.3歳となり世界のトップクラスとなっております。この平均寿命は、さらに延びると予想されますが、長生きとなればこそ、これまでにも増して幸せな人生を送ることが必要となってくるのではないかと思っております。

多くの人が最後まで自分の意思で生活できることを望んでいます。人が人らしく暮らすには、「おいしく食べる、ストレスなく笑える、話せる」などの機能が保たれていることが大切です。この「話

す、飲み込む、かむ、笑う」といった機能は、実はその多くを口が担っています。若いうちから歯や口の健康維持に取り組むことで、将来に向けて「健康への投資」となり、ひいては幸せな人生につながるものと確信しています。

お口の病気の代表である歯周病は、国内では中高年の約8割が罹患しており、近年、糖尿病をはじめとする生活習慣病にも大きく影響を及ぼすことが分かっています。歯周病は、残念ながら自覚症状が乏しく、痛みなど症状がでたときにはかなり進行していることが多いと伺います。

歯周病を予防するには、まず日々の歯みがきなど日常的な自宅での口腔ケア（セルフケア）はもちろんのこと、歯科医院で口の健康状態を定期的に診てもらい、歯石除去など専門的な口腔ケア（プロフェッショナルケア）を受けるなどセルフケアとプロフェッショナルケアの2つの取組が重要であると考えま

す。本区では、歯科医師の皆様方のご協力によりライフステージに応じた歯科健診を実施しており、区民の受診状況は23区の中でもトップにあります。これはひとえに地域医療を支える先生方のご尽力の賜物であり、心より感謝いたします。今後さらに多くの区民の皆様が各種歯科健診を活用し、歯や口の健康維持に取り組む契機としていただけるよう、私も引き続き啓発に力

を入れてまいります。また、治療の時だけでなく、日ごろから口の相談をできる「かかりつけ歯科医」を持つことの大切さについても、様々な機会を通じて広く区民に伝えてまいりたいと思っております。

さて、今般のコロナ禍においても、口腔ケアなどによる歯や口の健康維持が大切となっております。例えばインフルエンザウイルスの場合、お口が不潔だと感染リスクが高まるとい研究結果がすでに報告されており、特に歯周病菌はウイルスに侵入を助け

てしまうことがわかっています。新型コロナウイルスの場合同様であり、ウイルス感染の水際対策としてお口のケアが大変有効となります。本区においては、歯科医師の先生方と区が連携し、広報かつ

結びに、葛飾区歯科医師連盟のさらなる発展と会員の先生方のますますのご活躍を心からご祈念申し上げます。ご挨拶をさせていただきます。

必要があると感じました。本区では1歳6か月児歯科健診と3歳児歯科健診の受診率が高いことから、乳児期と幼児期の保護者は子どもの歯の健康に高い関心があると考

葛飾区議会では、子どもの虫歯を減らすために区の施策の更なる充実をはかり、それがひいては乳幼児期から生涯にわたる全ての世代に応じた取り組みとなるよう、強化してまいります。

大切な子どもの虫歯ゼロへの取り組みが、葛飾区が先駆けとなつて全国の口腔診療が進んでいきますよう、私も微力ながら区議会の活動を通じて皆様方の取り組みを積極的に支援してまいります。

歯科医師連盟の皆様方のますますの発展とさらなるご活躍を心よりご祈念申し上げます。ご挨拶をさせていただきます。